

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](平成 30年 3月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)	
廃プラスチック類	0.0000	(t/月)
ゴムくず	0.0000	(t/月)
金属くず	0.0000	(t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	0.0000	(t/月)
がれき類	0.0000	(t/月)
アスベスト含有 ガラス陶磁器	7.1770	(t/月)
〃 プラスチック	0.0630	(t/月)
〃 金属くず	0.3000	(t/月)
〃 がれき	6.4230	(t/月)
	13.9630	(t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	12台 12回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水2号)	
採取日	平成30年3月12日	
分析結果が得られた日	平成30年3月20日	
BOD*2		基準値 20mg/l以下
COD*2	2.7mg/l	基準値 40mg/l以下
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
必要な措置を講じた年月日 とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取日	平成30年3月12日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果が得られた日	平成30年3月20日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・無	有・無
必要な措置を講じた 年月日とその内容	<p>【シアン分析値について】</p> <p>1号井戸、3号井戸、浸透水採水設備</p> <p>1号、2号とも検出されず。</p> <p>2月の分析で0.07mg/l検出された</p> <p>「旧消防ポンプ用井戸」に採水用器具が</p> <p>WLまで入っていない、採水不可。</p> <p>したがって計測不能。</p>	<p>平成30年度の地下水の分析について</p> <p>継続的監視と原因究明のための</p> <p>分析及び廃掃法からの法的観測を</p> <p>満たすべく次年度の計画を3月28日</p> <p>大澤課長、秋山主査、小澤主任と</p> <p>打ち合わせ致しました。項目、頻度は、</p> <p>別添一覧表を参照下さい。</p> <p>(3月採水ができなかった「旧消防ポンプ」</p> <p>の地下水を何らかの方法で採水、分析</p> <p>を再度、依頼されました。)</p>	

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

	擁壁等
点検日	平成30年3月9日
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	<p>3月13日9時30分から11時15分の約2時間、環境センター秋山主査、</p> <p>小澤主任2名が来場され、場内立ち入り検査がありました。</p> <p>指摘事項詳細は、「立入検査票」に記載があります。①維持管理</p> <p>記録簿②地下水検査証明書、③他資料、を確認していかれました。</p> <p>場内視察後、指摘事項として</p> <p>1、処分場看板の「処分期間」への変更 2、隣地境界の明確化</p> <p>3、場内入口規制設備の設置、を4月30日までで報告をお願い</p> <p>されました。また、「場内見取り図」から埋め立て図面との差異を</p> <p>指摘され、場内の現状をもう一度再調査することを依頼されました。</p>

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか計量証明書を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。